

# 平成24年度 杉森中学校 第8回学校運営協議会 会議録

日時 平成24年12月12日(水)17時00分～18時30分

会場 杉森中学校 会議室

出席者

《協議会委員》 石田 壽文  
高崎 彰  
大川 洋  
伴野 博美  
安藤 雄太  
岡田 円治  
由井 宮太郎  
松本 美智子  
大熊 康子  
  
大橋 亮介(校長)



《杉森中学校事務局》

田邊 克宣(副校長)  
シュティールベリグ 育子(教務主任)  
長谷川 祐子(嘱託事務)

傍聴 一野 まり

副校長

「税についての作文」で、杉並税務署長賞 F・Hさん、杉並間税会会長賞 K・Sさん、杉並納税貯蓄連合会優秀賞をT・Kさんが授賞しました。校長は本日、この表彰式に出席しておりまして遅れて参りますので、ご了承ください。

学校の様子ですが12月7日から、個人面談が始まっています。そのため、3年生は現在70名ほどが面談を終えています。

都立入試では本年度より推薦の面接が1対1から、集団面接になっています。準備を進めているところです。

12月1日に杉森祭が開催されました。杉一、馬橋の児童を中心に杉六・杉七の児童や教員のみなさんにも来ていただき、盛大に行われました。部活動ごとに笑顔で小学生を迎えることができました。

12月8日は、神明宮でキャンドルナイトのボランティアに参加しました。伴野さんデザインの灯籠もを見せていただきました。幻想的でしたね。

12月9日の駅伝大会では、快晴のもと、元気に走って5区で人抜いた男子が9位、女子が13位でした。

力を出し切れず悔しくて泣いていた生徒もいました。練習時間も思うようにとれない中、よくがんばりました。

教育調査(教育委員会からきた保護者と生徒用の調査)をお配りしました。調査を実施いたします。昨年と大幅に変更がありました。今年度から3年後にデータがとれればと思っています。

進路関係ですが、今のところ都立の推薦希望者が22名、私立の推薦が18名の希望があがっています。学校内部調査もあわせて実施しています。

ノロウイルスが流行っています。学校でも具合が悪い生徒が増えてきました。感染したと思ったら、なるべく検査を受けてほしいとの事でした。



司 会

学校の事、部活動、キャンドルナイトその他についてご質問はありますか?

伴 野 杉並第一小学校の鈴木校長が、杉森祭での杉森中の生徒さんの姿勢の正しさと小学生に対する心遣いが素晴らしかったとおっしゃっていました。

司 会 杉一小といえば、文科省で表彰を受けたようですね。あわせて、和紙キャンドルナイトのお話も聞かせていただけますか。

伴 野 先日、12月3日に「平成24年度 優れた(地域による学校支援活動)推進にかかる文部科学大臣賞」をいただきました。鈴木校長が「学校支援本部がこのような賞をいただけたという事がとても嬉しい」とおっしゃってくださいました。選挙公示で、田中真紀子大臣ご本人からからはありませんでしたが、お名前が入った表彰状をいただきました。今後の活動の励みにしたいです。

8日のキャンドルナイトは、世尊院幼稚園・杉一小・杉森中ではシュティーベリング先生のご協力で、美術部が参加し2千人以上の来場者でにぎわいました。第3回キャンドルナイトでは、杉森中の50名のボランティアのみなさんが、小さな子どもが火を覗き込んだりするのを優しく注意してくれたり、暗闇で足元が危ないところでお客様に声をかけてくれたり、とても素晴らしかったです。毎年地域の方に感心されています。

能舞台で春日社中の3歳のお子さんが舞いました。6歳と8歳の子も舞っていましたよ。

予算がないなか、地域のボランティアで参加していただきました。

毎年近隣の方も楽しみにされています。  
この事業が続くようになればと思います。



教務主任 学校内部評価をご覧ください。教員に対する年度末評価になるのですが、現在7名提出していますが、1月中にはまとめたいと思っています。

1月の行事予定ですが、3年の進路に向けて1月7日に成績一覧表調査委員会が開かれます。2年生が1月23日から菅平スキー教室に行きます。校内・校外で書初め展があります。

司 会 学校内部評価について、何かご質問はありますか。

A委員 道德の担当、進路指導部の中に入っているのでしょうか。

教務主任 本校の道德担当は、公務文書の分け方で通称「進路指導部」と言われている「進路学習部」となっています。

特別活動・総合的学習・伝統芸能教室などもこちらで担当しています。

A委員 進路指導というと「道德」としてのおさまりが悪い気がするのですが。

教務主任 道德を教科・教科外という分け方にしてしまうこともできますが…。

司 会 では、ご検討いただいて。

B委員 先生自身がどうなのか、学校がどうなのか、主語がわかりにくいのでは。調査全体の対象の軸がどっちなのか…。

教務主任 担任なら、その先生がどう思ったかということですね。

B委員 学校がということではないんですね。集計の解析が難しいですよ。

司 会 生活指導部として、組織としての思いと個人の思いを書いていくようになっていますね。

教務主任 分掌で結果を話し合っってフィードバックして進めていきます。

B委員 もう一度やるということですね。

教務主任 そうです。やりっぱなしでは次に進めません。

司 会 学校運営委員会に関しては、聞いてくれていませんね。教員と一緒にやって行っていくのが本当の姿ですから「CSってなに?」っていう教員がないようにお願いしたいのですが。

教務主任 果たして教員全員がこういう会議を毎月行っていることを正しく理解できているかどうか。HPにも議事録ができていますが、臨場感をもって感じてはいないと思います。来年度はご意見を生かしたいと思います。

C委員 まとめがもう少し違った形で出てくるのではと、期待しています。



司 会 校長先生が帰っていらしたので、校長先生からご報告をお願いします。



校長 　　では、今内部評価のことでしたので…これに関しては、先生自身が思ったことをつけていくという項目になっています。関係分掌に集めて、原因解析するなど意見を出し合います。改善点などを考えます。検討のまとめは2月くらいになります。

D委員 　　自分たちが自分たちを評価する。学校の一番の目的は学力をつけること。何を持って学力がついたかという観点からの評価がないのでは…。そういう観点を聞く目的ではないんですか…。成果があったかどうかなど、それによって、指導計画についてどうするかなど。

校長 　　運営上の洗い出しが中心になっています。

D委員 　　実践・自学という目標をあまりストレートに聞いていない気がしますね。そういう力がこの一年でついたかつかなかったか。

E委員 　　例えば、ある教科の教員が、個人の到達目標が達成できたか…今年は何%が不十分だったかそういう具体的な評価という調査はないのですか。

校長 　　それについては、自己申告書を書いてもらっています。そのなかに目標や到達度について、また教科についての項目があります。これはまた別のものになります。

E委員 　　教科ごとにそういう調査をだしていただけるといいですね。

司会 　　ご検討いただければと思います。

A委員 　　総合的な学習の時間の評価で、うまく機能したか、どういう成果が見られたかというのが、これだと何もでないのではないのでしょうか。

教務主任 　　項目は入れさせてもらったのですが。進路指導の中に入っています。

F委員 　　気になったのは、表紙に「特色ある活動」というところに朝読書・ESC・職場体験と書いてありますが、

教務主任 　　細かい活動については中に書いてあります。

A委員 　　道徳を月曜の1時間目に置かないほうがいい…などの意見があったときには、改善などしてもらえるのでしょうか。

教務主任 　　それについても、たぶんご意見が出るでしょうから来年度に向けて検討する予定でいます。月曜日がつぶれてしまう分を道徳も含めて火曜日に振り替えていくなどの努力もしています。

司会 　　教育目標より、指導の重点が大事だと思うのですが。内部評価の中にその反省項目を入れていったらどうでしょう。

　　では、支援本部から報告をお願いします。

G委員 　　3学期の検定に向けて準備をしています。

司会 　　では、研修報告をおねがいします。

H委員 　　文科省の講習会に出席しました。CSのための講習会だと思ったら、教育委



員会の学校支援課が主催で学校本部の分科会と事例発表でした。地方の支援本部の活動報告でした。あまり私たちには関係のない内容でしたね。

B委員 この研修報告会は参考にはなりましたが支援本部ができてから 8 年もたつのに、CS と支援本部の違いもわからない文科省の方が何を言おうとしているのか…。非常に落胆しました。地域教育にこうあるべきというものを文科省がきちんと打ち出してくれていない。

最初の趣旨とはまったく違って、やれるところがやればよいというようなことになってしまっている。とてもふがいない東京大会でした。

司 会 新潟大会では、学校関係者評価についてやっていましたが、そんなに違和感はありませんでした。

B委員 パネリストがよかったのかもしれませんが。



司 会 広報誌について報告をお願いします。

伴 野 安藤さんにコーディネートをお願いしているので 12 月 21 日を予定しています。CS として高崎さんが出席予定です。

司 会 では、他に何かございますか。

校 長 税の表彰式があり、遅くなって申し訳ありませんでした。

杉森祭は地域のご協力で小学生 140 人にきていただきました。小学生は開会式・閉会式ともきちんとよく並んで聞いてくれました。杉森中の生徒もきちんとおもてなしができたので、ほめました。

杉一もやっている「難民に不要になった服を送ろう」という都教委・UNHCR 主催でやっている活動に参加しました。ダンボールに 9 箱が集まりました。

保護者の方にもご協力いただいて、たくさん集まりました。来週にはいったん実際の窓口となる U に渡し、それを U が現地に直接運び、手渡しをしてくれることになっています。

杉森のこの地域で行動を起こすという気持ちと心を込めるという質が高まっていけばと思っています。